

木造建築

WOODEN STRUCTURES IN TOKUSHIMA
徳島県・徳島県木造住宅推進協議会

Wooden Structures in Tokushima

木造建築は木、土、瓦、紙、竹等を取り合わせ工夫してつくられます。これらの材料は生きております。完成した時の新しい暮らしもしかにはましい空港はあろうとも、地域の生活体系や自然環境が建築を規定する要素であることは変わらない。

我々は、これら祖先の築いた優れた伝統の持つ理念・精神の上に現代の様式を重ね合わせて快適な生活環境をつくり出していかなければならない。【董内健二】

木造建築は木、土、瓦、紙、竹等を取り合わせ工夫してつくられます。これらの材料は生きております。完成した時の新しい暮らしも

「とにかくながら、十年を経た今日は、十年目の美しさが感じられます。」【吉中豊】

木造建築は木、土、瓦、紙、竹等を取り合わせ工夫してつくられます。これらの材料は生きております。完成した時の新しい暮らしも

「とにかくながら、十年を経た今日は、十年目の美しさが感じられます。」【吉中豊】

ハイテクを駆使した機能の家に住めば価値観は変わり、不便なもの接触などは悪いものとして一掃してしまいます。自然に生活の権を求めよう。田舎、自然に生活の権を求めることによって、生き続けてきた農民の住まいである。【岡島道喜】

林業者の生活を考えずに木材をとにかく使ってみましたという今の木材利用の状況は、

かっての町並み保存運動[ひい]お信じている家の中にはいる人のことを考えずに保存されれば良いという町並み保存運動は早晩消えて行く運命にあるだろう。【福井義】

ハイテクを駆使した機能の家に住めば価値観は変わり、不便なもの接触などは悪いものとして一掃してしまいます。自然に生活の権を求めよう。田舎、自然に生活の権を求めることによって、生き続けてきた農民の住まいである。【岡島道喜】

林業者の生活を考えずに木材をとにかく使ってみましたという今の木材利用の状況は、

かっての町並み保存運動[ひい]お信じしている家の中にはいる人のことを考えずに保存されれば良いという町並み保存運動は早晩消えて行く運命にあるだろう。【福井義】

ハイテクを駆使した機能の家に住めば価値観は変わり、不便なもの接触などは悪いものとして一掃してしまいます。自然に生活の権を求めよう。田舎、自然に生活の権を求めることによって、生き続けてきた農民の住まいである。【岡島道喜】

林業者の生活を考えずに木材をとにかく使ってみましたという今の木材利用の状況は、

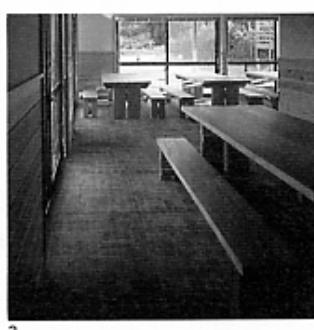
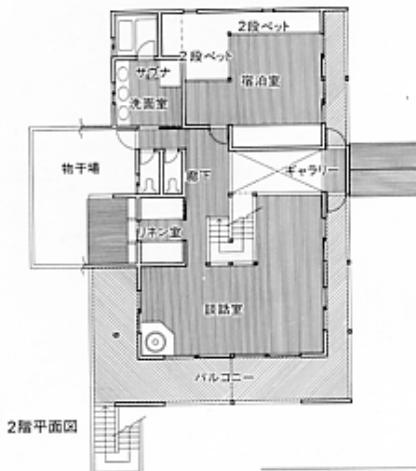
かっての町並み保存運動[ひい]お信じしている家の中にはいる人のことを考えずに保存されれば良いという町並み保存運動は早晩消えて行く運命にあるだろう。【福井義】

山菱電機保養センター 那生木荘 Naokiso

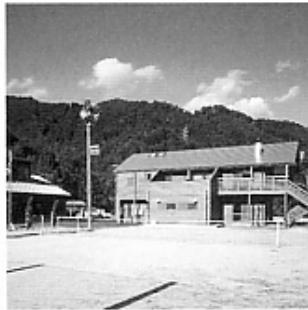
設計・監理
富田建築設計室

施工
株式会社相生工務店

主要用途
保養施設
所在地
那賀郡相生町朴野字上平間



1 全景 左 工場、右 那生木荘
2 宿泊室
3 食堂・ラウンジ
4 バルコニー・屋外階段



●機能を越えて

美しい杉の生い茂る山裾、約1,300坪のほぼ平らな敷地(発電所社宅跡)にこの建物は建っています。若者の流出を防ぐ過疎化対策として町の誘致で実現した電機工場とその社の保養施設です。山あいを東西に流れる那賀川。それに沿って走る国道から急勾配で町道を登ると、すぐに保養棟が目に入ります。その保養棟を通り過ぎて初めて工場が目に入ってくる配置にしています。メカニカルな電機工場のイメージを殺して外壁は地場杉を全面に使用して性格の異なる2棟に連続性を持たせました。

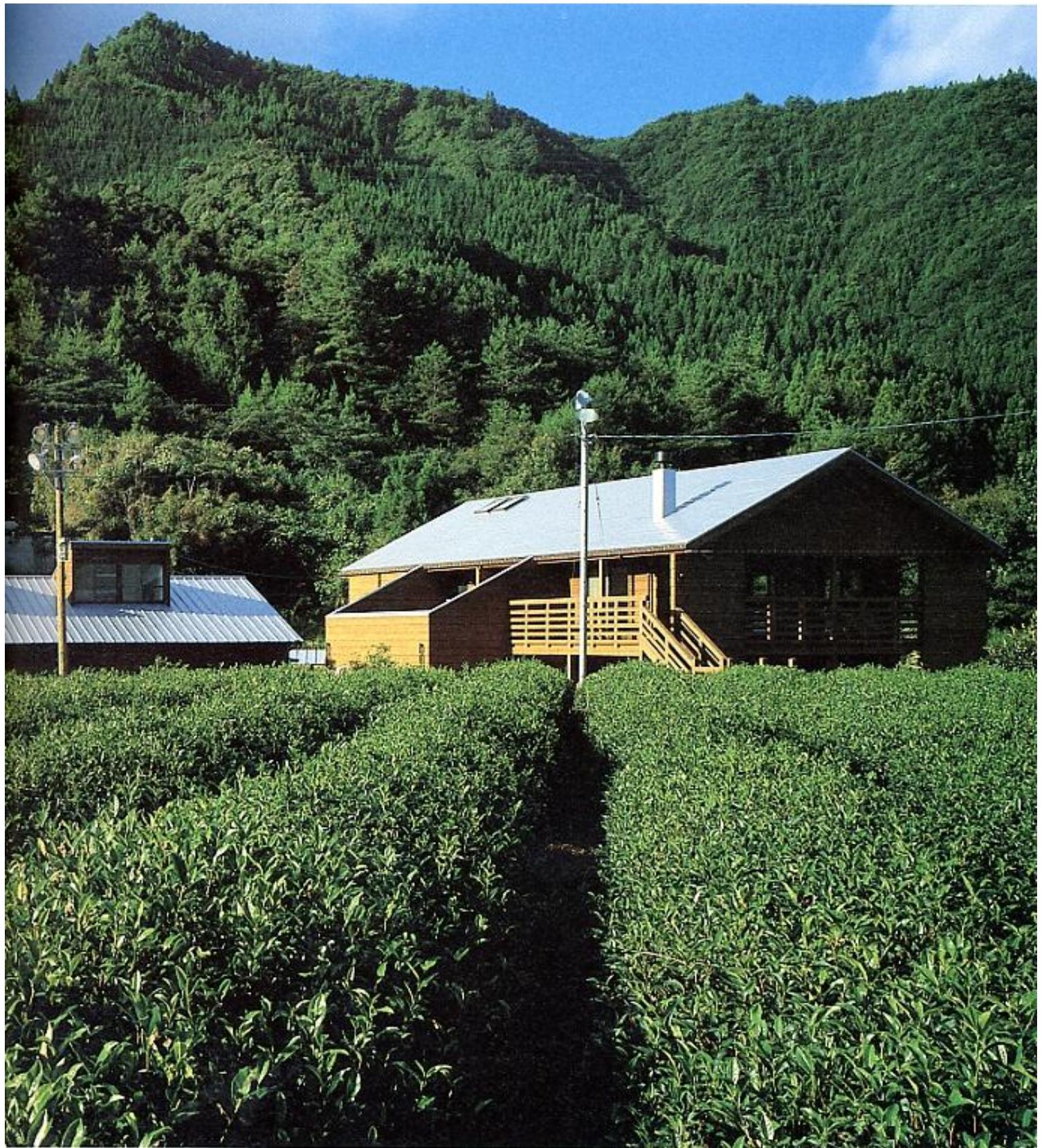
戦後、日本の社会は経済効率至上主義の中で急成長を遂げきました。特に、オフィスや工場は機能性・合理性の中で作られ、能率よく仕事をさせて生産性を上げてきました。その中で働く人々は皆画一的になり、チャップリンの映画の主人公の如くただ仕事に追われるだけの日々を送ることになります。

元来人間は機能という枠の中に入れられるものではありません。ハイテクを駆使した機能の家に住めば価値観は変わり、不便なもの曖昧なものは悪いものとして一掃してしまいます。物の豊かさを求めても限りがありません。不便なもの曖昧なものの中に本当の豊かさが隠されています。各人の個性的な創造力はそんな情緒の中で培われるべきものであるはずです。すばらしい環境の中での設計の機会を得て、表層的なテクニックに囚われることなく大らかなスケール観でデザインすることを心掛けました。単純な切妻の大屋根や使用木材を全て地場杉にしたのもその一つの表れです。そして、それらは機能を越えてそこに働く人や町の人たちの心地良い風景になってくれると信じたからです。第一印象で美しい町と感じたという社長自らが名付けた「相生森林公园工場」そして保養センター「那生木荘」(那賀に生い茂る木々=杉=相生町の木)も5年目に入り、徐々に環境の中に溶け込んでいます。この工場が個性ある豊かな創造力を生む生産空間として、そして那生木荘が明日への創造力を助長するやすらぎの空間として息づいてくれることを願って止みません。(富田真二)

敷地面積	4,527.76m ²
延床面積	242.02m ²
1階	134.62m ²
2階	107.40m ²
規模	地上2階
最高の高さ	8.20m
軒高	6.00m
地域地区	都市計画区域外
主体構造	木造
基礎	コンクリートブロック基礎
屋根	カラー鉄板葺
外壁	杉ドライ下見板張 Ø18mm OS
建具	カラーアルミサッシ
内部仕上げ	談話室
・床	杉間伐フローリング張り
・壁	(腰壁)杉ドライ下見板張 CL塗 (壁)PB張り AEP塗
・天井	ロックウール吸音板張り
設計期間	1985年6月-11月
工事期間	1985年12月-1986年4月
工事費	25,000,000円



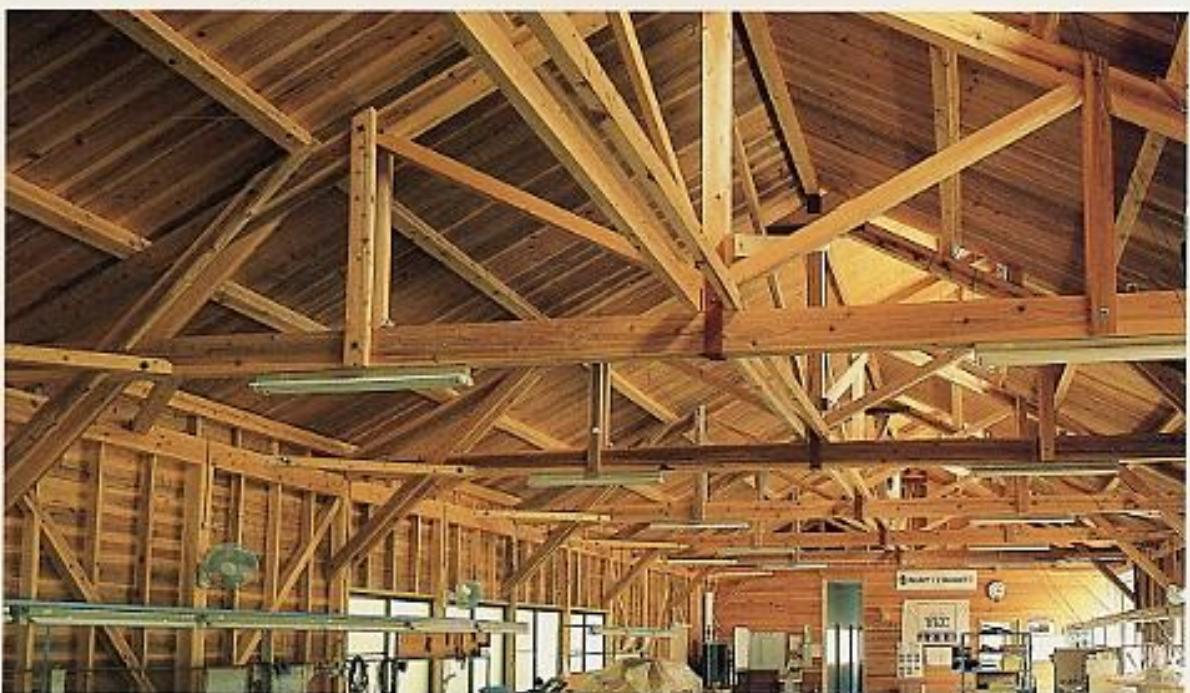




- 6玄関側よりの夜景
- 7工場内部
- 8設計室
- 9玄関ホール
- 10玄関付近より工場をのぞむ
- 11宿泊室
- 12食堂・ラウンジ

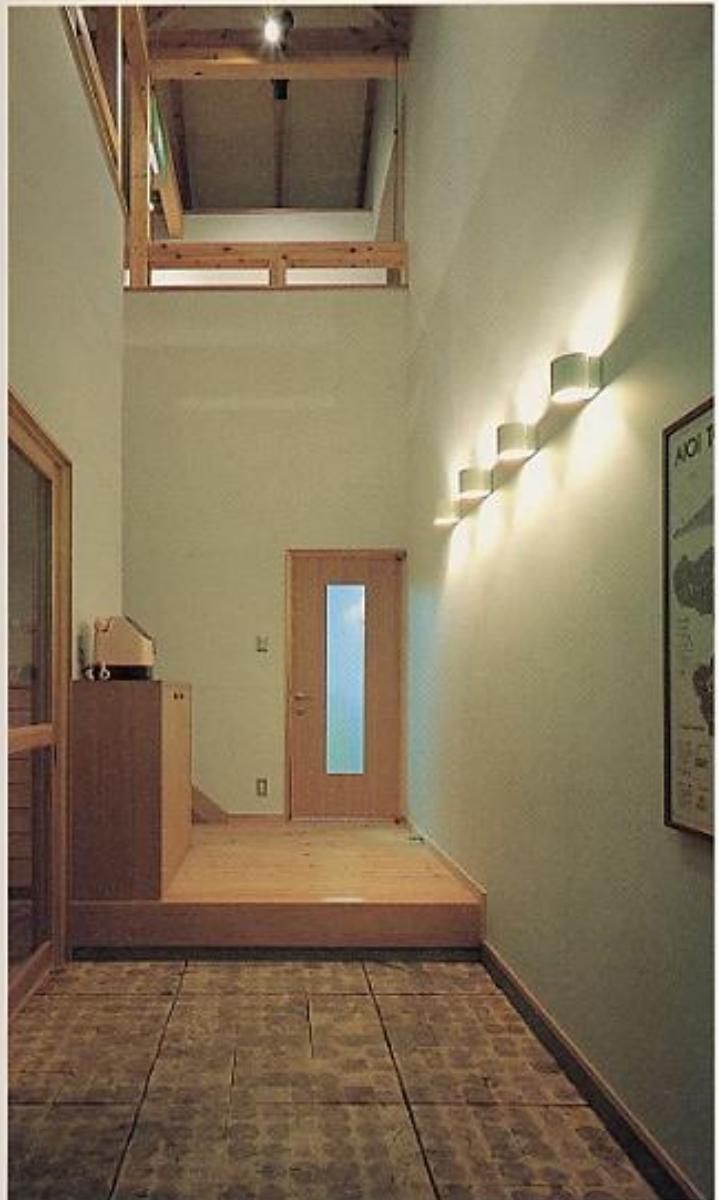


6



7





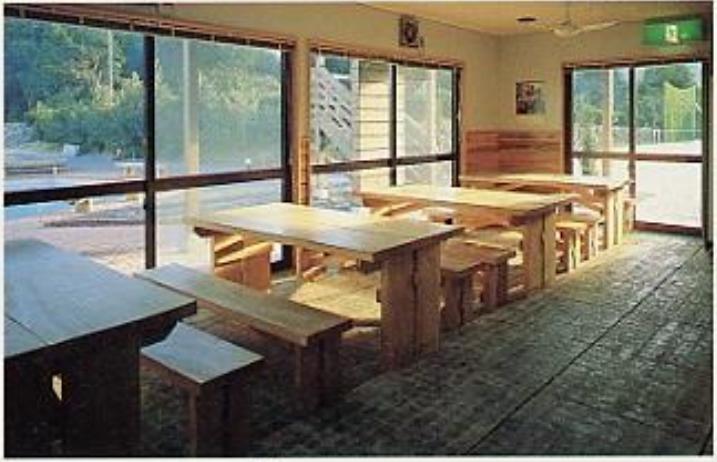
9



10



11



12